

【報道関係各位】

unerry、GumGum と連携し、 グローバル市場を視野に来店計測可能なコンテキスト広告を展開

～生活者のマインドセットに寄り添う GumGum の広告配信と unerry の人流データを連携、
「しゃぶ葉」では SNS 広告以上の効率的な来店単価で集客を実現～

リアル行動データプラットフォーム「Beacon Bank」を運営する株式会社 unerry（以下、unerry）は、コンテキスト広告のグローバルリーダーである GumGum Japan 株式会社（以下、GumGum）と連携し、生活者の関心と親和性の高いコンテキスト広告の配信と、広告接触から実店舗来店までの効果を一気通貫で可視化します。

本取り組みでは、GumGum のコンテキスト配信技術と unerry の人流データを掛け合わせることで、文脈に即した広告体験と、実行動に基づく評価を可能にします。広告主にとっても生活者にとっても、心地よい広告のあり方を目指します。



マインドセットに響くコンテキスト広告の効果を、
人流データで実店舗来店まで計測

本取り組みの背景：潜在的な関心に働きかける広告体験と、来店効果の可視化

生活者の多くは、日々さまざまなコンテンツに触れています。自ら検索や比較検討を行う前の、「なんとなく目に留まる」「少し気になる」といった状態で広告に接することも少なくありません。

GumGum は、こうした生活者の状態を、その瞬間の心理や関心の向き（マインドセット）として捉え、Web ページの内容や画像などのコンテンツ環境を解析するコンテキスト技術を用いて、生活者が置かれている状況に即した広告配信を行ってきました。さらに、広告がどの程度注視されたかを示すアテンション指標や、スクロールと連動して

動く表現やカーセル形式などのリッチメディアクリエイティブを活用することで、ブランドの世界観を体験として伝え、認知や興味喚起にとどまらない広告体験を提供しています。

一方、広告効果の評価は、リーチやクリックといったオンライン指標にとどまりがちでした。特に実店舗を持つブランドにとっては、広告が実際の来店という意思決定にどの程度影響したのかを示せるかが、次の施策判断において重要な視点となります。unerryは、人流データを活用することで、広告接触と実店舗来店の関係を分析し、オンライン上では捉えきれなかった行動ベースの効果を可視化してきました。

本連携は、生活者の関心と親和性の高い広告体験と、実店舗来店という実行動を結びつけて捉えることで、広告の効果をより本質的に評価するための取り組みです。

文脈に即した広告接触によって喚起された潜在的な関心が、どのような意思決定や行動につながったのかを人流データで検証・可視化することで、広告を単なる接触指標ではなく、生活者の意思決定を後押しするコミュニケーションとして捉え直すことを目指します。

広告接触から来店までを捉える「来店効果測定」

GumGum と unerry は、広告接触データと実店舗の来店データを掛け合わせることで、「来店効果測定メニュー」を提供いたします。

本メニューでは、GumGum のコンテキスト広告接触データと、unerry が保有する人流データを基に、広告接触後の来店状況を分析。広告が来店に与えた影響を、来店率や来店単価といった指標で可視化します。

これにより、従来のインプレッション数やクリック率といったオンライン指標だけでは説明が難しかった広告効果を、実店舗への来店という行動ベースで評価できるようになります。

来店計測は安全性と精度の高いunerryの人流データを活用

150以上のスマホアプリ

同意済みのユーザー群の携帯端末 (アプリ)

- 利用規約/プライバシーポリシーへの同意
- 取得項目・利用目的・提供先を明記
- オプトアウト方法

同意取得における利用規約の一例

- アプリユーザーID
- 緯度経度
- 高度
- 誤差 (水平・高度)
- 時間
- 反応Beacon ID
- Beacon電波強度
- 端末情報

Beacon Bank

DATA

秘匿加工処理

秘匿加工済みデータ

データ活用

データ提供

主な加工方法

- 暗号データ化
- 統計データ化
- センシティブなデータの排除
- 少数サンプルの秘匿処理

合計8.5億IDのGPS・ビーコンデータによる
屋外と屋内の行動を把握可能な網羅的な人流データ

屋外

屋外・路面店

GPSでカバー

屋内

ビル内・地下・電車など

Bluetoothビーコンでカバー

ユーザー数

約8.5億IDのアプリユーザー
(150以上のアプリ・特定の個人を識別しない許諾済みデータ)

エリア

日本・アメリカ・カナダ
(台湾・韓国・タイ・ベトナム・インドネシア・シンガポール・マレーシアも可)

しゃぶ葉の事例：SNS 広告と比較しても効率的な来店獲得を実現

本メニューを活用した事例として、すかいらーくグループおよび日本経済広告社の協力のもと、飲食チェーン「しゃぶ葉」のキャンペーンにおいて、本メニューを活用した GumGum の広告効果を検証しました。

その結果、unerry の来店計測により、GumGum のコンテキスト広告は、飲食業界平均と比較して約 3 分の 1 の来店単価を実現。SNS 広告と比較しても、効率的な来店獲得につながっていることが確認されました。

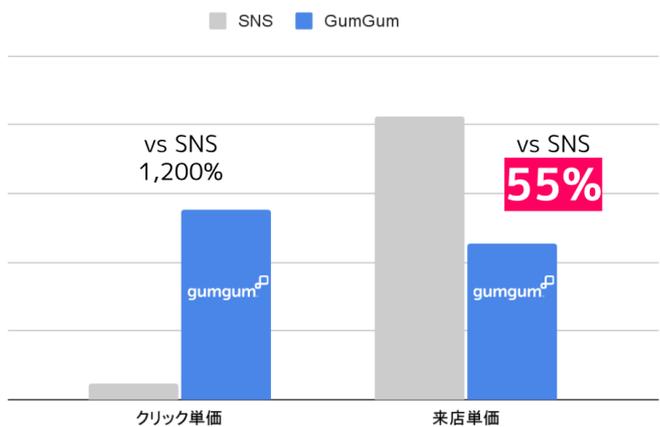
SNS広告と比較して、来店効率でGumGumに優位性

GumGum広告接触により、
人の「いまの気持ち」を捉えて、来店促進に貢献。

**SNS広告と比較しても
効率的な来店獲得単価を実現。**

対象キャンペーンの概要

- 計測会社：unerry社
- 期間 2025年6月
- カテゴリー：レストランチェーン
- 目的：認知・来店促進
- フォーマット：Hangtime Animation・In-Screen Expandable Animation
- 来店定義：広告接触から30日以内に来店



unerry社の来店計測で、飲食業界平均の約3分の1の来店単価を実現。「ブランド認知」だけでなく、「実店舗への来店促進」においてもGumGumの効果を発揮。

この事例から、GumGum の広告は「ブランド認知」や「興味喚起」にとどまらず、実店舗への来店促進においても効果を発揮していることが示されています。

岡田 智子 様 | 株式会社すかいらーくホールディングス 和食開発グループディレクター

「今回の検証で SNS 広告を凌ぐ来店獲得単価の実現を確認でき、コンテキスト広告の有効性を改めて実感いたしました。可視化が困難だったオンラインから実店舗への動線を定量的に把握できたことは、今後のマーケティング最適化における大きな前進です。」

今後の展望

GumGum と unerry は、今後も実店舗を持つブランドや代理店に向けて、コンテキスト広告の効果を多角的に捉えるための取り組みを推進していきます。オンラインとオフラインを横断した視点から広告効果を可視化することで、広告施策の評価や意思決定において、より納得感のある判断を支援していく考えです。

あわせて本連携を通じて、日本国内にとどまらず、北米をはじめとしたグローバル市場も視野に入れながら、文脈に即した広告体験と実行動に基づく評価を組み合わせた新たな広告のあり方を検討していきます。

<GumGum Japan コメント>

セルビー 健三 | GumGum Japan マネージングディレクター

今回の unerry 様との取り組みは、私たちが長年大切にしてきた『ユーザーのマインドセットに寄り添ったコンテクスチュアルターゲティングが、実際の行動変容につながる』という考え方を、来店データという形で裏付ける、非常に意義深い検証となりました。

広告は、ユーザーが受け入れられないタイミングや文脈で配信されてしまうと、単価が低かったとしても、本来期待される効果は限定的になってしまいます。一方で、適切な文脈とマインドセットに沿ったタイミングで届けられた広告は、体験価値を損なうことなく、実際の行動にポジティブな影響を与えられることが、今回の取り組みを通じて改めて確認できました。

今後も unerry 様の来店計測技術を活用しながら、さまざまな実店舗の購買・来店シーンにおいて、マインドセットターゲティングの優位性を継続的に証明していきたいと考えています。

<株式会社 unerry コメント>

今泉ライオン | 株式会社 unerry チーフ・エバンジェリスト

コンテキスト広告が先行するグローバル市場においてサービスを展開されている GumGum 様との連携により、unerry の人流データを活用した来店計測の価値を広く展開できることを大変嬉しく思います。ブランドセーフティを確保しながら、その成果を来店データで可視化できる本取り組みは、広告主にとってこれまでにないソリューションであり、今後生活者から選ばれるためのスタンダードになっていくと考えています。

この取り組みを、国内にとどまらずグローバル市場においても展開することで、海外に進出している日本企業や、現地の海外企業に向けても展開してまいります。本連携を通じて、国内にとどまらずグローバル市場においても「unerry, everywhere」の実現を加速してまいります。

*本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

*本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

<お問い合わせ>

株式会社 unerry 広報 内山、柳田

information@unerry.co.jp

■株式会社 unerry について

会社名：株式会社 unerry

代表取締役社長 CEO：内山 英俊

設立：2015年8月

本社所在地：〒105-6901 東京都港区虎ノ門 4-1-1 神谷町トラストタワー 23F（WeWork 内）

URL：<https://www.unerry.co.jp/>

リアル行動データプラットフォーム「Beacon Bank (<https://www.beaconbank.jp/>)」を運営する2015年創業のデータカンパニーです。GPS およびビーコン技術を活用し、約150のスマートフォンアプリから取得する約8.5億ID（うち国内約2.4億ID）の屋内外の人流ビッグデータをAIで解析。「心地よい未来を、データとつくる。」というミッションを掲げ、OMOマーケティング支援や、スマートシティの実現に向けた事業等を展開しています。

■GumGum について

GumGum (ガムガム) は、コンテキストの力で人とブランドを結びつけるデジタル広告プラットフォームです。自然言語処理と画像認識技術を使用した高度な文脈解析を行うことで、パーソナルデータを使用せず健全で良質な広告環境を提供します。

GumGum の広告モデルは、過去の行動履歴を集めるのではなく、現在進行形の心理状況 (マインドセット) を理解することで、広告体験と広告効果の最適化を実現するアプローチです。

GumGum は、2008年に米国カリフォルニアで設立され、現在、世界19カ国でサービスを提供しております。日本でも2017年からサービスを展開しており、ブランド価値を重視する数多くの企業のマーケティングに活用されています。